事例 01

建設業界―鹿島事業協同組合

人を育てる×技術の継承

東京オリンピック・パラリンピックの開催決定、東日本大震災復旧復興工事の本格化、さらには民間の不動産事業の活発化など、建設需要が増加する一方、現場の人材不足は深刻な状況だ。そこで昨年度から、鹿島建設㈱とその協力会社で構成される鹿島事業協同組合がタッグを組んで始まったのが退職自衛官採用事業。今、なぜ自衛官が求められるのか、自衛官に期待することなどを伺った。

樋口彦四郎・写真　photo：Higuchi Hikoshiro

大坪　まずは、建設業界の人材不足について現状をお話しいただけますか。

本多　建設産業のピーク時は、およそ80兆円の建設投資でしたが、現在は約40兆円強に落ち込んでいます。それに伴い建設業従事者も減少し、なかでも現場における「技能者」の人材が足りません。この20年間で120万人も減少しています。今回の事業は、その技能者などを確保したいというのが目的です。

大坪　「技能者」……つまり職人ですか？

本多　職人さんと称する技能者や工事管理を担当する技術者です。具体的には、建設現場で、物づくりに直接関わる大工工事業、鳶土工工事業、鉄筋工事業、内装業、設備業といった専門工事業に従事する方々です。

大坪　建設現場で働くというと、日雇い労働者とイメージされがちですが……。

本多　私どもは短期的ではなく、継続的に建設業に携わる技能者や技術者を求めています。

大坪　ということは、若い人を歓迎すると？

本多　これからの担い手を求めているので、若い方々はもちろんですが、同時に管理部門の人材（技術者）として40代・50代の方にもどんどん入って来ていただきたい。

大坪　そこでお聞きしたいのが、今、なぜ自衛官を求めるのか、ということです。

大木　指示命令系統を熟知し、規律正しい、そうした自衛隊で培われた経験を、多様な職種が集まり大人数で働く建設現場で発揮してもらいたいのです。

本多　私も同感です。集団で仕事をするうえでの卓越した能力、基礎体力があり、厳しい訓練にも耐え、さらに遵法精神も備えている、こうした人材を他で求めるのは至難の業です。

大坪　なるほど。では、定年を迎える自衛官については、どのような期待をお持ちですか。

大木　現場において安全や工程管理は非常に重要な役割です。ルールを守らせ、的確に指示を出す、自衛隊出身の方はこれにも適しておられるのではないでしょうか。

大坪　建設業界の魅力について伺えますか。

大木　仕事の成果が形として残る、その達成感が一番の魅力ではないかと思います。しかも大手ゼネコンの仕事ですから、有名な建造物に携わることができます。街を歩きながら子どもに「これ、お父さんが作ったんだよ」と自慢できるのは、うれしいものですよ(笑)。

大坪　確かにそうですね（笑）。もう一つ、お聞きしたいのですが、例えば技能者として就職した場合、昇格の道はあるのでしょうか。

本多　建設業というと将来性がないと誤解されがちですが、正規社員として採用しますから、各自の努力や成果によって昇格はあります。

大木　現場では、鹿島さん発案のマイスター制度というのがありまして、腕を磨き、実績が評価されるとマイスター、その上のスーパーマイスターを目指すことができます。肩書だけでなく、待遇面でも優遇されます。

求む！退職自衛官

鹿島事業協同組合の83社がラブコール

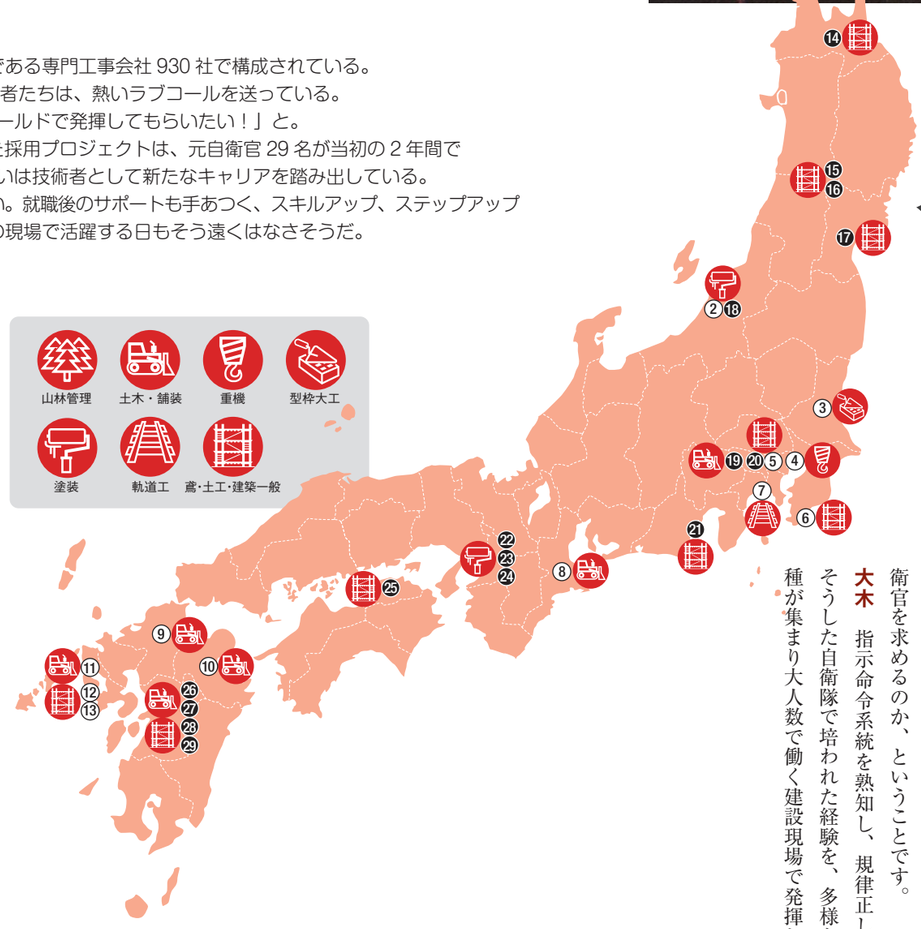
鹿島事業協同組合は、鹿島建設の工事を担う施工パートナーである専門工事会社 930 社で構成されている。そのなかでも特に、退職自衛官の採用に意欲的な 83 社の経営者たちは、熱いラブコールを送っている。「ぜひとも、自衛隊で培われた人間力を建設という新たなフィールドで発揮してもらいたい！」と。

鹿島建設と協同組合がタッグを組み、昨年度からスタートした採用プロジェクトは、元自衛官 29 名が当初の 2 年間で 20 社に就職し、彼らはすでに建設現場において、技能者、あるいは技術者として新たなキャリアを踏み出している。

人材不足に喘ぐ建設業界にとって、退職自衛官への期待は大きい。就職後のサポートも手あつく、スキルアップ、ステップアップの制度も万全だ。順調に進めば、自衛隊出身の職人があちこちの現場で活躍する日もそう遠くはなさそうだ。

◉退職自衛官採用活動にて入社した先駆者29名

	No	会社名	元自衛官名	元所属部隊
26年度（採用活動元年）	①	かたばみ興業	中野　颯　さん	第2後方支援連隊
	②	平川塗装	飯田　直登さん	第2普通科連隊
	③	山辺工務店	黒澤　雄太さん	第34普通科連隊
	④	東邦重機開発	近藤　大雅さん	第1施設大隊
	⑤	大木組	葛西　聖矢さん	第39普通科連隊
	⑥	向井建設	塩附　孝倫さん	第34普通科連隊
	⑦	高幸建設	堀川　翔平さん	中央野外通信群
	⑧	鹿島道路	伊藤　健太さん	第6施設群
	⑨	竹中機設	鳥越　英明さん	第41普通科連隊
	⑩	冨島建設	成元　大介さん	第2高射群
	⑪	同	瀬戸山　周一さん	第43普通科連隊
	⑫	中村工業	中沼　健太さん	第9施設群
	⑬	同	梅﨑　賢輔さん	第102高射直接支援大隊
27年度（採用活動2年目）	⑭	西田組	清藤　拓也さん	東北方面会計隊
	⑮	鎌田工業	國松　佑丞さん	東北方面特科隊
	⑯	佐々木組	遠藤　祥樹さん	第6施設大隊
	⑰	加賀	小川　友教さん	第6通信大隊
	⑱	平川塗装	植木　信之介さん	東部方面通信群
	⑲	白岩工業	沼澤　大地さん	第6通信大隊
	⑳	大木組	柏原　明城さん	第1高射特科大隊
	㉑	高島工務店	服部　倫幸さん	横須賀警備隊
	㉒	KMユナイテッド	赤池　聖也さん	第307ダンプ車両中隊
	㉓	同	三好　広幸さん	中部方面通信群
	㉔	同	田村　良太さん	第8航空団整備補給群
	㉕	大企建設	射場　孝友さん	第14後方支援隊
	㉖	冨島建設	桑原　勇人さん	第42普通科連隊
	㉗	同	窪田　史朗さん	第43普通科連隊
	㉘	中村工業	佐藤　真也さん	横須賀警備隊
	㉙	日光建設	原　慎弥さん	第19警戒隊



建設現場では、職種ごとの技能者を束ねるポジションを職長さんといい、そのなかでも卓越した技能を持ち、他の模範となる方が鹿島のマイスターなのです。

大坪　評価が待遇に反映されるのはうれしいですね。ただ気になるのは、建設の知識やスキルがなくてもやっていけるかという点です。

本多　「一からお教えします、お育てします」が当社のスタンスですから、ご安心ください。希望者には、入社２カ月前に業界団体が運営する富士教育訓練センターで研修に参加していただきます。就職後も訓練センターでスキルアップのため各種のクラスが用意され、各自の目標に合わせた資格取得が可能です。

大坪　未経験でも大丈夫ということですね。入社後のフォローは心強いですね。

本多　入社後のフォローは大事にしています。実際、慣れない現場に出てからのほうが不安だと思いますので、３カ月に一度、事業主に対して再就職した方の「就労報告」を提出するようお願いしています。経営者の方にご負担をかけることもあると思いますが、せっかく入っていただいて、すぐに退職されるのではお互いに不幸なこととなりますので、３年目までは全力でフォローさせていただきます。

大坪　では、最後にこの事業に対する意気込みを、本多部長からお願い致します。

本多　いくら社内で決定した採用事業とはいえ、当初は協力会社からご理解いただけるか、とても不安でした。全国の協力会社百社あまりを訪ね、直接ご説明に伺った際に、経営者の方々が異口同音に「あのＰＫＯ派遣や災害救援をされている人が本当にわが社に来てくれるのですか！」という感激の込もった反応をいただきました。これには私も感動を覚え、確かな光明を感じました。今後も自衛隊の皆様と建設業のつながりが強固になるよう、お互いに理解を深めていきたいと思っています。

大坪　私もかけ橋となるよう精一杯頑張ります（笑）。本日はありがとうございました。

退職自衛官は、建設業界の「光」となります

本多敦郎 氏
鹿島建設株式会社　安全環境部長

防衛大学校出身。しばらく閉ざされていた退職自衛官の再雇用の門戸を開くために奔走

大木勇雄 氏
鹿島事業協同組合連合会　理事長
株式会社大木組　代表取締役会長

鳶の熟練職人を経て、現在は経営者として後進の育成に力を注ぐ

大坪伸生 氏
鹿島建設株式会社　安全環境部　担当部長
鹿島事業協同組合連合会　参事

自衛隊 OB（元一等陸佐）で建設業界と自衛隊を結ぶキーパーソン

退職自衛官の採用は、組合青年部にとって新たな希望です

中村隆元 氏
鹿島事業協同組合
青年部　会長
中村工業株式会社
代表取締役

鹿島事業協同組合の組合員として高卒の採用を続けている当社は、任期制自衛官という新たな採用の枠組みを鹿島建設や協同組合から示していただいたことに大変感謝しています。昨年度、初めて元自衛官の方を採用しました。個人の気質もありますから一概に言えませんが、採用した方には頼もしさを感じています。規律正しい集団生活を経験して、基礎体力ができている点だけでも、建設業界ではアドバンテージです。高卒者の採用後、通常私どもが最も気を遣うのが５月から９月の暑い時期に体力が持つかどうかということです。元自衛官の方々はスムーズに超えられ、さすがだなと思いました。また、現場では自社の社員だけでなく、様々な会社の職人さんたちが一緒になって働くのがこの業界の特徴ですが、それにもすんなり順応している様子でほっとしました。５年後には中小規模の現場職長を目標に、力を入れて彼らを育成していくつもりです。

未来像

技能者として昇格すると、待遇にも跳ね返ってくる

鹿島建設のマイスター制度

建設現場でのステップアップのプロセスは、次の通りだ。最初は肩書のない技能者、次は鳶工なら鳶工の技能者を何人か束ねる班長、その次は一つの職種の技能者全体を束ねる職長。職種ごとに職長がいて、その中で卓越した技能を持ち、他の模範となる人がマイスターという位置付けとなる。さらにブラッシュアップすると、スーパーマイスターという最高位に。これは単なる肩書や称号ではなく、待遇にも反映する。マイスターには１日につき1000円、スーパーマイスターは、3000円が支給される。つまり、スーパーマイスターが年間250日働くと、自社の給料とは別に鹿島建設から75万円を受け取ることができる素晴らしい制度だ。多くの人が関わる建設現場で円滑に工事を進め生産性を上げていくには、現場を熟知したうえで施工を段取る能力や周囲からの信頼、高いコミュニケーション能力などの総合力が求められる。その役割を担うのが鹿島のマイスターであり、スーパーマイスターなのだ。

育成

「一から教えます、育てさせていただきます」が鹿島のモットー

建設業未経験者も大歓迎

自衛隊から民間企業へ、まして知識や技術もなく、建設業界に飛び込むとなれば、不安がないわけがない。鹿島では、そんな不安を解消すべく、入社前の研修に力を入れている。希望者には、退職前の２月の段階で業界団体が運営する「富士教育訓練センター」で研修を受ける機会が設けられている。ここでは建設業の基本知識に加え、玉掛や移動式小型クレーンなど建設現場で最低限必要とされる資格取得も可能だ。事前に予備知識や建設業界の雰囲気に触れることができる。就職後も経験やスキルに合わせ、初級、中級、上級と様々なクラスが用意され、計画的にステップアップし腕を磨くことができる。とはいえ、一番の成長の場はやはり現場だ。鹿島の現場は、上司も職人も丁寧な指導には定評がある。親方が「俺の背中を見て学べ」という時代は終わったのだ。

職場環境

先輩&受け入れ社長の声

仕事の魅力は？　やりがいは？　働く現場からあなたへのメッセージ

鹿島道路株式会社（伊藤健太氏）
道路工事現場で施工管理者の見習いとして測量、作業指示、安全管理業務等に従事しています。基本を確実に習得し、応用できるよう成長したいです。完成するまでには色々な問題も出てきますが、日々工事が進み、物を造り上げていく達成感を感じられる仕事です。

株式会社山辺工務店 代表取締役（小湊公一朗氏）
元自衛官は、相手の目を見て挨拶ができ、規律を守り、体力や柔軟性にも優れています。今後は技術・技能を習得し、職長として現場をまとめ、将来は会社の幹部として一役を担ってもらいたいです。

中村工業株式会社（梅﨑賢輔氏）
長崎県庁舎新築現場で鳶・土工作業に従事しています。忙しい毎日で重労働的な面もありますが、どんどん建物が出来ていくのを見届けられるのは、何とも言えない充実感です。

平川塗装株式会社 代表取締役（平川由博氏）
26年度、27年度元自衛官を各１名採用しました。塗装に関する技術や知識は必要ありません。自衛隊で培った実行力・協調性を活かし、目標を持って前向きに仕事に取り組む人材を求めています。

● 鹿島事業協同組合連合会　http://kajima-kyoren.com/　鹿島協連　検索